

第 3 回地域検討会（沖縄県）での指摘事項に対する対応（案）

(1)第 3 回地域検討会議事概要及び指摘事項

指摘事項なし

(2)概況調査結果概要

1	<p>【指摘】清掃活動に関する事例調査結果は、検討会の中で何かデータ的に利用していくのか。</p> <p>【対応】清掃活動が多いあるいは少ない海岸を検討したり、また、例えば航空機写真から作成したマップに照らし合わせて、今後重点的に清掃を行っていく場所を検討し順位づけを行うといったことの検討材料にできると考えている。</p>
2	<p>【指摘】漂着状況のマップで、漂着ゴミの量を色分けしてあるが、これは航空機写真から判定しているということなので、特にゴミの量の多いところがどういった状況かというのを、実際の写真を付けて整理してくれるとより解りやすい。特にゴミが多いマップ上の赤い部分については、航空機写真だけではなくて、現場写真もあるのか。</p> <p>【対応】現在は、航空機写真しかない状態である。しかしながら、航空機写真で見ても、ゴミが付いている状況はある程度解る。例えば写真にスケールを入れて見てもらうなどを行えば、感覚的に理解してもらえると考える。</p>
3	<p>【指摘】今回、この事業で指定している石垣島と西表島の調査範囲は、実際ゴミは非常に多いものの、マップ上では赤くなってない。それ以上にゴミの多いところが、図中で赤くなっている部分である。この調査は来年度もあるので、何かの形で、この赤くなったところのゴミの実態というものを少し定量的に評価できたらよいのではないか。</p> <p>【対応】方法も含め可能かどうか検討する。</p>
4	<p>【指摘】航空機写真によるマップと海岸清掃を行った実績のデータを対応させる。そうすると、その海岸はゴミが多い少ないというのはなぜ多い少ないのかという事も大体理解していけるのではないか。例えば清掃しづらい、非常にゴミが多くて運べないとか、色々な問題がクローズアップされていくのではないか。何個もプロットされる場所は、過去に何回も清掃されているということが解るので、清掃しなくなるとゴミが堆積してしまうのではないかという判断にもなる。</p> <p>【対応】まずは航空機写真によるマップと清掃活動実績のデータの整理から始めていきたい。</p>
5	<p>【指摘】石垣市HPに「いしがき島っぷ」というのがあり、これは、利用者がポイントを入れて、市のほうでそれを見ることができるといようなWEB上のソフトである。これを使えば、いつ何処で清掃活動を行ったかという情報を地図上のデータとして反映できる。</p> <p>【対応】地域の取組体制に有効利用できるかどうか、石垣市と調整していく。</p>

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要

1	<p>【指摘】当初、この事業を行う際に、特に西表島の場合は減容機を導入するということを提案していたが、未だ導入されていない。次年度には減容機を導入して頂き、減容効果や経済的な面の検証も含め、減容機導入による効果を検討して欲しい。</p> <p>【対応】減容機の導入については、困難な面があり進んでいない状況にある。発泡スチロールの処理については、現在は別の方法として、減容剤の導入を検討している。</p>
2	<p>【指摘】流木に関しては、必ずしも搬出せず、また流出防止の観点から、海岸として邪魔にならないところに確保するという方法も良いのではないかと。流木は自然のものなので、いずれは分解される。それまでは邪魔ではあるが、多くの費用と労力をかけて搬出処理するのも大変である。</p> <p>【指摘】流木の利用方法としては、例えば炭にすれば土壌改良材にもなるし、海水に浸かっていたため腐るのに時間がかかるので赤土流出防止対策にも利用できると思う。また、海岸線の砂の流出防止にも利用できるのではないかと。海岸に生息する生物が利用することもある。独自調査で行った様な流出防止策は有効であると考えている。</p> <p>【指摘】海上における船舶に対する流木の被害について、八重山漁協の組合員に対し聞き取りを行った結果では、一番小さい1 t前後の漁船の場合には、直径10cm以上。流木が実際に漁船に当たる場合、軽ければ浮いているのではじかれるので問題ないが、重いもの、沈むものについては、船体やプロペラを傷めてしまうという事例もある。</p> <p>【対応】流木の取扱いについては、様々な意見が出されている。第4回検討会で今までの論議をまとめ、流木の取扱いについてのルール作りの検討等につなげていきたい。</p>
3	<p>【指摘】ラベル表記言語による国別集計結果をみると、海外からもいろいろ流れてきている事が判る。この結果をもとに、国としてこういった関係国に対して何らかのアクションを起こすといったことは検討されているか。</p> <p>【対応】これまでの色々な漂着ゴミ問題について、関係国にいろいろ要請すべきことを要請している。この調査についてはまだ途中であり、終了後には、調査結果に応じ、必要に応じた対応策を行っていく予定である。</p>

(4) その他の調査の進捗状況

1	<p>【指摘】このアンケートは石垣島の写真を使用するが、西表島の代表する海岸線も入れたほうが良いのではないかと。</p> <p>【対応】今回このアンケートを実施する目的は、観光価値の測定評価である。その後の観光価値の推計ということを考えれば、回答者の方のイメージするものが、石垣島であったり西表島であったりして、バラバラになってしまうと、最後に出てくる価値額というものの信頼性にブレが発生してくる可能性がある、と解釈している。</p>
2	<p>【指摘】このアンケート調査は石垣島が対象となっているが、この事業では西表島も調査対象であるので、できれば西表島も調査対象にした方が良いのではないかと。</p> <p>【対応】両島について実施するのがベストだとは思いますが、非常に手間も時間も費用もかかる調査であり、今回は短期間で調査がしやすく、サンプルを多く集めることのできる石垣島の方をまずは選択して実施してみるという事になった。</p>

(5)今後の検討事項について

1	<p>【指摘】デモンストレーションに使用した様な発泡スチロールの減容剤を利用すれば、リサイクルも可能になり、現在行っている産廃処理に比べて、大幅にコストも削減できる可能性がある。今後はこういった方法に積極的に取組んでいきたいと考えている。</p> <p>【指摘】流木の取扱いについては、陸揚げして固定する方法、冬場に暖をとるマキに利用する方法、流木のアートに利用するとか、色々な事例があると思うので、そういったものを取り入れて、単に処理するのではなく、利用・リサイクルの方を検討して欲しい。</p> <p>【対応】当該地域の重要な課題の一つである処理費用の対策には、減容化や再利用といった方策は非常に有効な手段であり、平成 20 年度は積極的に検討していきたい。</p>
2	<p>【指摘】航空機調査によるゴミの漂着状況のマップを利用して、人力での運搬が十分可能な浜、限界の浜、困難な浜、船での運搬なら可能な浜など、地図上で何種類かに分けてくれれば、今後の対処の仕方が非常にやりやすくなるのではないかと。</p> <p>【対応】漂着状況のマップについては、活用方法について意見を集約し、有効活用していきたい。</p>
3	<p>【指摘】この事業が終わった後は、この事業で行った調査の成果や地域検討会による議論の結果を生かして、海岸の環境保全を継続していかなければいけない。そのときには、清掃のため、運搬のため、そして処理のために、きちっとした経済的な土台を長期的にどうやって確保して、どの様にして継続的に捻出していくか。ここが非常に重要になる。そのときに、これは全部国にお願いしますでは、なかなか難しいのではないかと。漂着ゴミ対策には、島の住民ができること、住民と行政が一緒になってできることがあり、国も海岸保全のために役割を果たす。それから、民間業者の役割もあると思う。例えば運輸業の人や、ツアーを組む旅行会社。多くの観光客を石垣島や西表島に送っておいて、海岸がゴミだらけでも無関心、ではいけない。</p> <p>【対応】平成 20 年度の最重要検討課題は、「地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方について」である。このテーマについて様々な検討・論議を重ねていき、成果をあげるのが大きな目標である。</p>

(6)次年度調査計画について

指摘事項なし